

所沢市立教育センター「所報」

けやきぐん

授業が変わり、学校を変えて、子どもを伸ばそう

所沢市の教育の理念

みんなが持っている三つの「宝」を
掘り起こして大きく育てます
心身のたくましさ
未来を拓く知恵
ふるさと所沢を愛する心



6月の研修会から

<小学校理科授業力向上研修会（第1回）>

6月13日(火)、1学期後半の単元を中心に、小学校理科の学習で行う観察や実験方法等の指導のポイントについて学ぶ研修会を、実験実習室で行いました。3～6学年の4つのグループに分かれ、実際の授業場面を想定した観察や実験を行いました。「実感を伴った理解」や「科学的な見方や考え方」を養うためにはどのような授業展開をすれば良いのか、演習を通して学ぶ機会となりました。



《参加者感想》

- ・「ああ！なるほど！」と思える授業づくりを目指していきたいです。
- ・見るポイントが分かると観察がとても楽しくなるということを実感しました。
- ・実感を伴った理解を導くためには、教師の観点を絞った言葉かけが大切であるということが分かりました。

<初任者研修施設体験研修説明会>

6月14日(水)、「新任教員としての社会性の向上や知見の拡大を図り、自己の教育実践に役立てること」をねらいとした初任者研修における施設体験研修の説明会を行いました。この研修では市内12の保育園に御協力をいただき、保育園実習を行います。説明会では保育園実習の心構えや留意点等について説明し、実習先の保育園グループごとに打合せを行いました。

また、今日までの初任者研修を振り返り、学習指導や学級経営について、グループ内で情報交換を行いました。



《参加者感想》

- ・保育園での施設体験研修についての見通しやめあてを持つことができ良かったです。(小学校教諭)
- ・市内の先生方と情報交換することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。保育園実習に向けて、事前準備をしっかり行っていきたいと思えます。(中学校教諭)

<不登校予防研修会>

6月28日(水)、東京学芸大学教授 小林正幸先生をお招きし、「学校でしかできない不登校・いじめの未然防止 不登校予防のための組織マネジメント」という演題で御講演いただきました。熊谷市、神奈川県等における不登校を減少させた具体的な取組を御説明いただき、『学校の全教員が受容・配慮の意識を高め、チームで支援するための学校・管理職の秘策』についてワークショップを行いました。

【先生方から出たアイデア】

- ・チーム支援の体制を整える。
- ・受容、寄り添う、配慮意識を確立する。
- ・当該児童生徒の情報の共有化と本人への声かけを行う。
- ・小・中学校間の連携を進める。



《参加者感想》

- ・徹底的に寄り添い、児童生徒、職員にとって居心地のよい環境づくりに努めたい。
- ・組織をあげて「受容・配慮」の意識の向上に努めたい。
- ・管理職として考える時間があり、他の管理職と話す機会があった。

教科書展示会報告と来場の御礼

6月16日から7月3日まで、平成29年度教科書展示会を開催いたしました。来年度からの道徳の教科化に伴う関心の高さもあり、所沢市内外から教職員、保護者・PTA役員や一般の方等、延べ783名の来場がありました。

閲覧の感想・御意見をいただきましたので、内容については、県にも報告し、運営に関することについては、次年度以降の参考にさせていただきます。また、運営に御協力いただきました狭山市教育委員会、入間市教育委員会の皆様にも感謝申し上げます。

研修会のお知らせ



◎は、各学校1名以上の参加をお願いします。★の研修会は、対象者は全員参加です。夏休み中の研修で、**授業力アップ!**を目指してみませんか?

研修会名	内 容	日 時	会 場
生徒指導・教育相談 中級研修会	積極的な生徒指導、教育相談の校内推進者を目指し、理論と実践を学ぶ研修 指導者 南小 教諭 金子玲奈 美原小 教諭 彦島康美 山口小 教諭 鈴木進也・教諭 尼寺イズミ 林小 教諭 木戸由美 狭山ヶ丘中 教諭 濱中紀寿	7月24日(月) 7月25日(火) 7月28日(金) 9:00	教育センター
英語サロン②	小学校外国語活動の授業における効果的な指導法についての研修 指導者 東京学芸大学 教授 粕谷恭子	7月25日(火) 14:30	教育センター
一人一人を大切に する支援を学ぶ研修会 ※校内研修としての参加も可能です。電話で御連絡下さい。	通常学級における気になる児童生徒への支援について理解を深める研修 指導者 東京学芸大学 教授 藤野 博	7月25日(火) 15:00	教育センター
★接遇研修会	人間関係を円滑にするための方法や、教師としての接遇について学ぶ研修 ★初任者は必ず参加。初任者以外の方も参加できます。 指導者 コーディアル代表取締役 プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー® 坪田まり子	8月1日(火) 15:00	教育センター
★主体的・対話的で深い学びのための研修会②	新学習指導要領で重視されている主体的・対話的で深い学びの視点をあてた授業改善について学ぶ研修 ★授業実践研究員対象。リーダー研究員は必ず参加。研究員以外の方も参加できます。 指導者 十文字学園女子大学 教授 富山哲也	8月1日(火) 15:30	教育センター
小学校理科 授業力向上研修会 (第2回)	小学校理科の学習(2学期前半の単元)で行う観察や実験方法等の指導のポイントについて学ぶ研修 指導者 教育研究会理科部	8月25日(金) 15:00	教育センター
学級活動スキルアップ 研修会 ※校内研修としての参加も可能です。電話で御連絡下さい。	小中学校における特別活動、特に学級活動(1)の特質と意義、望ましい集団活動を育成する指導の在り方について学ぶ研修 指導者 国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官 安部恭子	8月28日(月) 14:30	教育センター

新学習指導要領実施に向けて(外国語教育)



小学校新学習指導要領「外国語活動」「外国語科」について

新学習指導要領が告示され、「外国語活動」「外国語科」の内容が示されました。全て読み解くのは中々大変ですが、充分理解をせずに授業をするわけにはいきません。ここでは、ごく基本的な点について触れていきます。

従来の外国語活動では「慣れ親しみ」をねらいとした「活動型」でした。新学習指導要領でも、外国語活動の基本的な考え方は変わりませんが、高学年の外国語科へのスムーズな接続を意識することは不可欠です。そして外国語科では、学習したことの「習得」が求められています。外国語活動から外国語科へ、そして小学校から中学校へと一貫したコミュニケーション能力の育成が期待されています。その際、外国語科での習得に至る指導過程については配慮が必要です。児童の実態や成長過程に配慮しながら、「音声で十分に慣れ親しんだ」上で進めることが明記されています。

また新学習指導要領では、外国語活動、外国語科のそれぞれで取り扱う領域が新たに整理されました。外国語活動では「聞くこと」、「話すこと(やり取り)」と「話すこと(発表)」の3領域、外国語科では、「読むこと」と「書くこと」が加わった5領域にわたり指導をすることになります。

授業時数については、各学校での創意工夫が必要です。外国語活動は年間35時間、外国語科は年間70時間が設定されています。時間割に位置付けたり、年間の授業日数や、短時間学習で対応したりと様々な方策が考えられます。

先日、移行期間の時数に関する措置についての報道がありました。まだまだ未確定な点も多くあり、今後の動きについても目が離せません。教育委員会からも適宜情報提供していきます。また教育センターでは、TEA-Planに沿って英語教育に関する研修会を実施しています。学校からの要請に応じて校内研修にも、担当指導主事が伺います。ぜひ、御検討ください。